

1 活動名 生活の中の税金

2 活動のねらい

- (1) 我が国の税金について関心を持ち、身近な税に関して積極的に関わろうとすることができる。
- (2) 身の回りには税に関するものがたくさんあり、それらはすべて日常生活において欠かすことのできないものであることを理解することができる。
- (3) 自分の生活の中で税金がどのように使われているのかを調べ、少しずつ意識していこうとする気持ちを持つことができる。

3 活動にあたって

我々国民の生活は、税と密接に関わっている。税金は、豊かな社会生活を支える根底をなすものであり、安定した生活を送るためのかけがえのないものの一つである。

しかしながら、子どもたちにとって税はあまり身近なものとはいえない。自分たちの買い物にかかる消費税はいくらか、という程度の知識しか持ち合わせていないのが現状である。そこで、税が果たしている役割に気づかせることにより、子どもたちが通う学校や公共施設、地域社会などへの関心と愛情を育成していきたいと考える。さらに、国民生活を支える必要不可欠なものとしての税を大切に思う気持ちも育んでいくようにしたい。

4 児童の実態（男15名、女7名、計22名）

子どもたちの日常生活において、消費税はよく耳にする言葉であるが、大人だけが支払っているものであるという意識が強い。税という言葉に対して「消費税」を思い浮かべたのは約半数だったが、それが生活にどんなふうに使われるのかは一人も分からなかった。

一番身近な消費税の必要性や使い道について学ぶことにより、自分の国の税金について少しでも理解し、税金と生活の密接な関係を把握させたいと考える。

5 教師の願い（指導の着眼）

児童の実態から、子どもたちはなぜ税金があるのか、どのような目的でどう使われているのかということを知らないので、まず税金とは何かという



ことを知り、支払っている税金がどのように使われているのかを登米法人会青年部会の方と一緒に学習することにより、税について興味・関心を持ち、理解を深めていきたい。

6 活動計画

- 第1時 税金という言葉調べ、税について自分が知っていることを発表後疑問に思っていることや調べたいことなどをまとめる。
- 第2時 登米法人会青年部会の方を「ゲストティーチャー」として来校していただき、税金がどんなところに使われているかを中心に学習する。
- 第3時 学習したことについて、感想を書き、税金について分かったことをこれからの生活で生かしていこうとする態度を養う。

7 活動の様子（第2時）



- ① Q みんなの知っている税金って？
税金の名前、分かる人？
A ー消費税！ー
Q 他にないかな？
A . . .
- ② Q 消費税の他にも、所得税、酒税
たばこ税、相続税、. . . などたくさんあります。
A へええ。お父さんが飲んでいるビールにも？

ー1億円の模型を提示ー

- A うわあ。すごい。重いのか？ 本物？
こんなに. . .、どうしてだろう。
お金、なくなってしまうんじゃない？
何に使われるのかな？

③ Q こんなに支払わなければならない税金をみなさんはどう思いますか。

- ・ 税金なんて知らない、払いたくない。
- ・ 税金は必要だ、払ったほうがいい。
- ・ わからない。

A 払うなんて、もったいない。(3～4名)

家でも払っているかも。(10～11名)

うーん難しい。(4～6名)

④ Q 税金なんて知らないと思っている人がいましたが、これから見てもらう主人公も同じ

気持ちです。「消費税なんかなくなっちゃえばいい」と叫んだ後、どうなったかよく見ていてください。税金がないとどうなるのかも注意して見てくださいね。

「マリンとヤマト 不思議な日曜日」

ビデオ視聴

—もし、税金がなかったら？—

- ・救急車を呼ぶのにお金がかかるかもしれない。
- ・火事を消火するのにもお金がかかるかもしれない。
- ・ゴミを捨てるのが有料になるかもしれない。
- ・お巡りさんに道を尋ねたり、泥棒を捕まえてもらうのにもお金がかかるかもしれない。

A 今まで、税金を使っていたんだね。

じゃあ、税金がないと困る。

いろいろ助けてもらえないかも・・・

⑤Q 税金の使い道はどこで決めているのでしょうか。

A・・・難しい

国会で話し合われて決められています。つまり、わたしたちが決めていることになります。

まとめ

税金を納めることは、国の一番大事なきまりです。みんなが税金を出し合い、力を合わせて住み良い生活にしているんですね。



8 活動をふりかえって

- (1) 税金が、学校内をはじめとするたくさんの公共施設に使われていることを知り、公共物の使い方について一人一人が見つめ直す良い機会になった。
- (2) 税金についてほとんど何も分からなかった児童に対して、租税教育用ビデオの視聴は、税金について関心を持たせたり、理解させたりするのに効果的であった。
- (3) 税金は、みんなが健康で安全に生活していくために、不可欠なものであることを理解することができた。

